

太陽光発電オーナーさま向けサービス

太陽光発電遠隔制御

発電所が遠くて
頻繁に操作に
行けない。

発電所が多く
制御が大変。

毎回の操作に
コストをかけたくない。
遠隔操作しない場合の年間コスト

最大約 90万円!!*

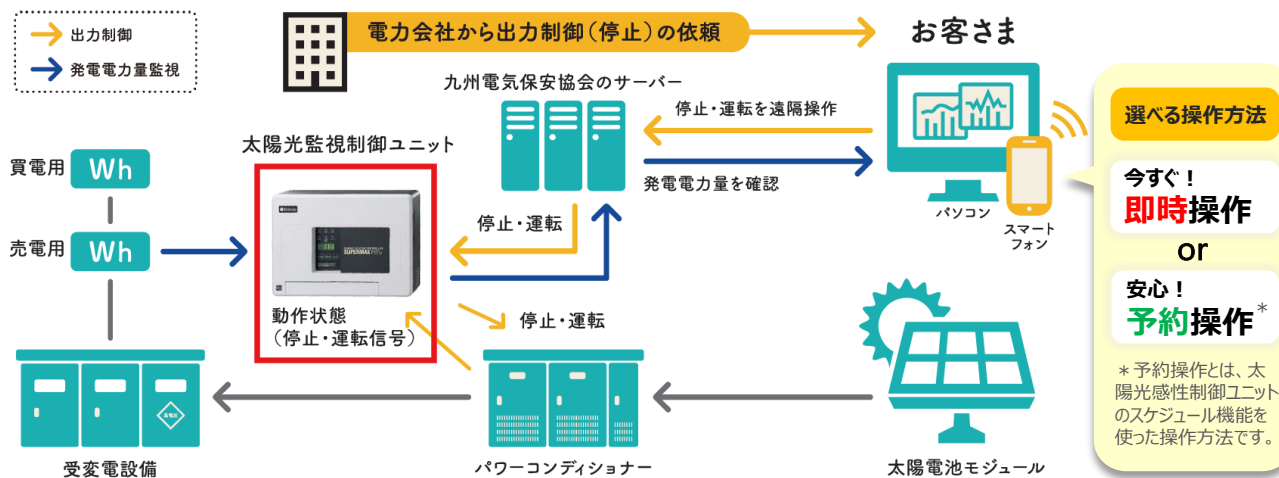
*1回のコスト:3万円(停止操作1.5万円、再起動操作1.5万円)
年間最大30回の操作指示があります。

太陽光発電オーナーさまのモヤモヤを快晴に！

出力制御(停止・運転)にかかるお客さまの負担を軽減する
サービスのご案内です。



太陽光発電遠隔操作のイメージ



九電テクノシステムズ株式会社
Kyuden Technosystems Corporation
〒815-0031 福岡市南区清水4-19-18



092-551-1776

<http://q-tecno.co.jp/>

再生可能エネルギー増加に伴う優先給電ルール

九州本土では、太陽光発電を中心とした再生可能エネルギー発電設備の導入が急速に進んでいます。このような中、特に供給力が需要を上回る昼間帯に、自然変動する太陽光・風力の出力に応じて、電力会社が火力発電所等を抑制するなどして、需要と供給力のバランスを維持し、安定供給を図っていますが、2016年4月、供給力が需要を上回る場合の対応として、出力を抑制する順番等を定めた「優先給電ルール」が、電力広域的運営推進機関において整備されました。

九州電力エリアにおいても需給状況によっては、2018年にも出力抑制が実施される可能性が高まっています。既に、離島の太陽光発電所は出力抑制が始まっております。今後の出力抑制が発生する場合には、以下ルールに基づいて出力抑制が実施されることとなります。

優先供給ルールにより抑制等を行う順番

- 0 九州電力の火力電源を停止もしくは抑制
- 1 九州電力以外の火力電源を抑制
- 2 連系線を活用した九州地区外への電力供給
- 3 バイオマス専燃発電を抑制
- 4 地域資源バイオマス発電を抑制
- 5 自然変動電源(太陽光・風力)を抑制
- 6 電力広域的運営推進機関による措置
- 7 長期固定電源(原子力・水力・地熱)の抑制

太陽光発電事業者が行う出力抑制の運用方法について

【旧ルール】

2015年1月省令改正前に接続承諾に至った太陽光発電事業者が対象。定格出力500kW以上の太陽光を対象に、**年間30日**までの無補償での出力制御を実施。

【指定ルール】

2015年1月省令改正以降に接続可能量を超えて接続承諾に至った太陽光発電事業者が対象。無制限・無補償での出力制御を実施。

※接続可能量817万kW(30日等出力制御枠)を超過するまでは、旧ルール対象者と同様に交替制御。

ルール	旧ルール	指定ルール
操作方法	現地操作(手動)	自動制御(出力制御機能付PCS)
制御方式	交替制御(出力抑制が必要な日ごとに出力制御対象事業者を順次交替して実施)	一律制御(出力制御が必要となる量を必要な時間に一律で実施)
制御実施単位	日単位	時間単位

電力会社から太陽光発電事業者へ 出力抑制の連絡

前日
17時頃

電力会社が翌日の出力停止を
連絡(電話・メール)

当日

指示に基づき発電停止・運転操作
※出力制御時間：8時～16時



九電テクノシステムズ株式会社
Kyuden Technosystems Corporation